

令和6年度 宇都宮市立河内中学校 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

生徒の知・徳・体の調和のとれた成長を期し、豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きようとする生徒を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

① 実力を養う

たくましい体力と何事にもくじけぬ強い精神力(耐性)を養い、自ら学習しようとする意志力をもつ生徒を育てる。

② 友愛を深める

礼を重んじ、友情を育て、深め、思いやりのある生徒を育てる。

③ 品性を高める

人格向上を目指して自己を磨き、豊かな心をもつ生徒を育てる。

2 学校経営の理念

(1) 「魅力ある学校」(感動ある学校、学び合う学校)

① 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践

② 感動的な学校行事の推進

③ 言語活動と読書活動の推進

④ 人権意識の涵養と規範意識の醸成

⑤ 保護者との連携強化

(2) 「地域とともにある学校」(カリキュラムマネジメント)

① 地域教育力の活用

② 地域行事への生徒の参加・協力の推進

③ 「宇都宮の良さ」「河内地区の良さ」を発信し、考えさせる指導の充実

④ 地域ボランティア活動への参加

⑤ 学校の教育活動の地域への情報発信

(3) 「やりがいのある学校」

① 協働する教職員組織の構築

② 教職員の授業力の向上と生徒の学力の向上

③ 教職員の服務規律の確保

④ 教職員の業務（働き方）の改善

3 学校経営の方針

[河内地域学校園教育ビジョン]

『すこやか河内 ～小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します～』

4 教育課程編成の方針

(1) 確かな学力の育成

① 授業研究の日常化・活性化

(校内研修・一人1授業公開・地域学校園全体研修)

- ② 「考える力を育む言語活動の充実」(学校課題)
- ③ 情報活用能力を育成する教育の充実(GIGAスクール構想の実現)
- ④ 郷土への愛情を育む学習の推進(「宇都宮学」・「道徳科地域教材」の実施)
- ⑤ 家庭学習の充実(タブレット端末の利用・AI型個別学習ドリルの有効活用)

(2) 豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」(考える道徳・議論する道徳)の充実
- ② 読書に親しむ態度の育成
- ③ あいさつ、返事、言葉遣いの指導
- ④ 「いじめ防止基本方針(改訂版)」の着実な運用
- ⑤ 感動体験を重視した学校行事の充実(運動会・合唱コンクール・校内マラソン大会等)

(3) 健康・体力の向上

- ① 健康的な生活を送るための指導の充実
- ② 新体力テストの結果を活用した教科体育の充実
- ③ 縦割りによる運動会の実施
- ④ 安全に配慮した校内マラソン大会の実施
- ⑤ 自他の安全を守る能力の育成(避難訓練・安全集会・感染症防止等)

(4) インクルーシブ教育及び個に応じた指導の充実

- ① 障がいに対する理解・研修及び合理的配慮への取組
- ② いじめや不登校の未然防止、早期対応、組織的な対応
(Q-Uの活用・SC・MSとの連携・関係機関との連携・家庭との連携)
- ③ 配慮を要する生徒への、かがやきルームの効果的活用と別室登校支援の充実

(5) 学校における教職員の働き方改革の推進

- ① 多様な専門スタッフと連携したチーム力の向上
- ② 月1回以上のリフレッシュデーの設定
- ③ 学校業務の効率化と勤務時間の管理
- ④ 部活動指導体制の見直し
- ⑤ 学校行事の見直しと実施に向けた練習・準備等のスリム化

(6) 地域とともにある学校づくりの推進(カリキュラムマネジメント)

- ① 宮・未来キャリア教育の推進及び地域人材の活用
(ふれあい文化教室・福祉教育・キャリア教育・健康教育)
- ② 地域協議会との連携
 - ・ 地区体育祭、文化祭等への参加協力
 - ・ 書写指導、図書館、花壇整備等における地域ボランティアの活用
 - ・ 「地域未来塾」(放課後学習支援活動)への参加呼びかけ
- ③ 「学校マネジメントシステム」の中間期評価の実施と活用
- ④ 学校だより・学年だよりやホームページ等を通しての積極的な情報発信

5 今年度の重点目標(「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- ① 「魅力ある学校」づくり
- ② 感動的な学校行事の推進
- ③ 計画的な小中一貫教育の推進
- ④ 教職員の働き方の改善
- (2) 学習指導
 - ① 学力調査等を活用した共通実践
 - ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ③ 学校園授業コンセプトの定着・充実
 - ④ 言語力の基礎の徹底
- (3) 生徒指導
 - ① 「特別の教科 道徳」の充実
 - ② 体験活動・読書活動の充実
 - ③ 正しい言動で自分を表現できる生徒の育成
～元気なあいさつ、さわやかな言葉遣いと身だしなみ、素直な「ごめんなさい」～
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
 - ① 『健康増進・体力向上の基本的な知識を身に付け、自分の身体の状態を理解し、体力向上に励む生徒の育成』
 - ② 運動に親しむための体力づくり
 - ③ 望ましい食習慣の形成
 - ④ 生徒の健康・安全を第一に考えた、学校生活や学校行事等の計画・運営（感染症対策等）

6 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
 - ① 言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成
 - ② 自己の気力・体力・競技力を生かし、その成果に向けて互いに励まし合おうとする態度の育成
 - ③ 生徒自ら主体的に生活環境に働きかけようとする態度の育成
 - ④ 現代社会における地球規模の課題を自らに関わる問題として捉え、解決に向けて考え、行動する力の育成
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
 - ① 言語活動の充実、読書活動の充実
 - ・ 主体的・対話的で深い学びのある授業実践（各教科）
 - ・ 朝の読書の時間の充実（図書委員会・国語科）
 - ・ ビブリオバトル・ブックトーク等の実施（図書委員会・国語科）
 - ② 感動的な学校行事の推進
 - ・ 縦割りで行う運動会や校内マラソン大会（体育委員会・実行委員会・保健体育科）
 - ・ 生徒主体で行う文化祭や合唱コンクール（生徒会・実行委員会・音楽科他）
 - ◇③ 環境教育の推進
 - ・ 花いっぱい運動、草花の手入れや栽培等、校舎内外の教育環境の整備（環境委員会）
 - ④ SDGs の推進

- ・ エコ活動、地域環境保全に係る活動の推進（環境委員会・総合的な学習の時間）
- ・ 持続可能な開発を推進するために必要な知識及び技能の習得

（各教科・総合的な学習の時間・国際理解教育）

7 本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

- I 地域の教育力を生かした学校教育の充実
- II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保
- III 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上

②主な取組

I 地域の教育力を生かした学校教育の充実（カリキュラムマネジメント）

ア 学習支援活動

- ・ 総合的な学習の時間における福祉体験
- ・ 「地域未来塾」の広報活動と活動内容の検討・充実
- ・ 国語科書写の毛筆指導
- ・ 技術・家庭科における食育(地産地消の意義等)

イ 校内環境整備

- ・ PTAクリーン活動
- ・ 図書室蔵書整理
- ・ 委員会活動と連携した花の手入れや栽培（昇降口前・中庭での花の栽培、グリーンカーテンづくり等）

ウ 部活動指導員及び部活動外部指導者の活用

II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保

ア 地域巡回指導（原則月２回）

イ あいさつ運動（「かわちあいさつの日」毎月１日）の実施

III 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上

ア 家庭教育活動 PTA講演会等

イ 地域教育活動 学校園交流活動

（２）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

『すこやかに学ぶ子ども像』を設定し、小中学校の連携を図りながら児童・生徒への教育の充実を目指す。

『すこやかに学ぶ子ども像』

- ・ 学び方を身に付けている子ども
- ・ 家庭学習の習慣を身に付けている子ども
- ・ 言葉の正しいつかい方を身に付けている子ども

②主な取組

- ・ 小学校乗り入れ授業を通し、授業力の向上に努め、中１ギャップの解消を図る。
- ・ 運営会議、全体研修会、専門部会、教科部会 ⇒ 年間４回

- ・ 小中合同あいさつ運動 ⇒ 年間5回
- ・ 地域学校園授業コンセプトの定着・充実
- ・ 生徒会による小6生中学校訪問時での学校紹介等の実施
- ・ すこやか河内学校園「生活のきまり」の共通指導

【河内地域学校園授業コンセプト】

『対話的な学びを通して、考えを広げ深める授業の展開

—言語力の基礎の徹底と学習形態の工夫—

(3) いじめ・不登校対策

①基本的考え

チームによる相談体制の強化及び学校・地域・関係機関の連携を強化し、いじめを受けている生徒、不登校生徒への対応の充実を図る。

②主な取組

- ・ 教育相談（年3回）の実施
- ・ 家庭との連携強化
- ・ 宮っ子ダイアリーの有効活用
- ・ SCやMSの活用、SSWによる支援
- ・ 教育相談部会、校内支援委員会、事例検討会の適時開催と有効活用

(4) GIGAスクール構想

①基本的考え

GIGAスクール構想の実現を目指し、一人1台端末を授業はもとより日常的に有効活用できるように、取組を推進する。

②主な取組

- ・ 学びの保障を意識した、家庭におけるタブレット端末の利用
- ・ ICT支援員の有効活用と校内研修の充実
- ・ SNSを介した犯罪やスマートフォン依存防止に向けた、専門家による出前講座の実施
- ・ 個に応じた学習の充実を図るための「AI型個別学習ドリル」の有効活用

(5) 宇都宮学

①基本的考え

地域の教育資源や資料等を有効に活用しながら、郷土の歴史、文化、伝統、産業等について理解を深めるとともに、生徒が郷土への愛情と誇りをもてるよう、指導の充実を図る。

②主な取組

- ・ 総合的な学習の時間における各学年での「宇都宮学」の確実な実施
- ・ 「道徳科地域教材」を通しての地域理解と郷土への愛情を深める授業の工夫
- ・ 総合的な学習の時間等における、河内地区ガイドブック「かわち」の有効活用
- ・ 地域協議会や地域学校協働活動推進員、地域ボランティア等をゲストティーチャーとして実施する授業等の実践（「地域の人に学ぶ」）